

みんなであそぶ
水と緑あふれるまちへ
桜と花見のまちへ
安全・安心に暮らせるまちへ
安心して子育てができ、みんなが健やかに暮らせるまちへ



CONTENTS

予算の概要	02	水と親しみ、花と緑あふれるまちへ	04
地域経済が元気で人が集まるまちへ	04	災害に強く安全・安心に暮らせるまちへ	05
公共施設の将来を見据えたまちへ	06	安心して子育てができ、みんなが健やかに暮らせるまちへ	07

笛吹市は、今年どんなことに お金を使うの？

今年度の一般会計予算総額は、337億4400万円。前年度と比べて、16億900万円（4.6%）の減額となりました。

石和温泉駅周辺整備事業や消防救急無線デジタル化等整備事業などの大型公共事業がピークを過ぎたことによる普通建設事業費の減額や繰出金、公債費の減額が主な要因です。

平成27年度当初予算は、すべての市民が豊かで、健やかに、生き生きと生活できる笛吹市の建設を目指し、「選択と集中」を徹底し、必要不可欠とされる事業に重点予算配分を行いました。皆さんに納めていただいている税金などがどのように使われているのかをお知らせします。

今年度予算の特徴

「花と緑のまちづくり」「産業振興」「子育て支援」を中心に地方創生に向けた事業を推進していきます。重点事業は4つの柱で構成します。

○第一 産業振興策として、「地域おこし協力隊事業」、「水辺活性化事業」、「農産物等消費拡大宣伝事業（全国桃サミット）」、「就農定住者促進事業」、「リニアの見える丘整備事業」など

○第二 安全・安心のまちづくり施策として、「花と緑のまちづくり推進事業」、「交通安全施設整備事業」、「避難路沿道建築物耐震診断・耐震化支援事業」、「消防団波無線更新事業」など

○第三 福祉・保健・子育て施策として、「学童保育クラブ事業」、「地域子育て支援センター事業」など

○第四 教育振興施策として、「スコレーセンター改修事業」など

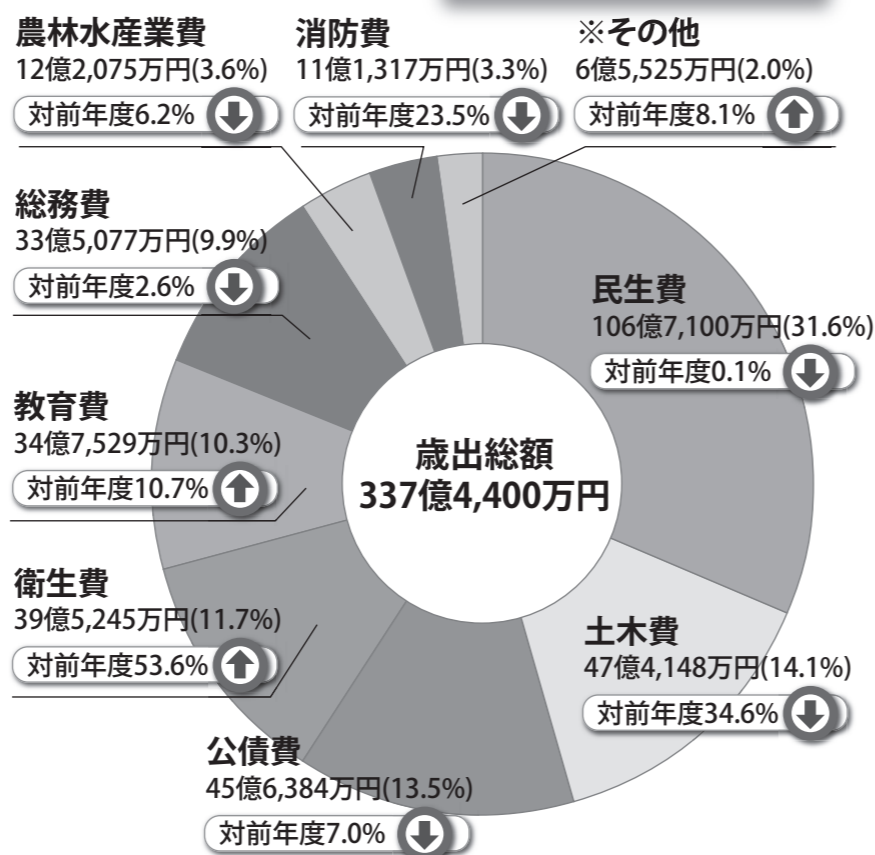
歳出（性質別）

*経費を人件費や物件費などの性質によって分類

区分	予算額	構成比 (対前年度)
消費的経費		
人件費 職員などに対する給与、報酬	47億 3,346万円	14.0% (4.9%↑)
物件費 人件費、扶助費、補助費など以外の消費的性質の経費	48億 641万円	14.3% (3.8%↑)
扶助費 社会福祉や老人・児童福祉などに支出される福祉的な経費	58億 3,826万円	17.3% (2.2%↑)
補助費 各種団体に対する負担金、補助金および交付金など	41億 3,724万円	12.3% (25.7%↑)
	195億 1,537万円	57.9% (7.6%↑)
投資的経費		
普通建設補助 国から補助を受けて実施する道路や学校などの施設建設事業に要する経費	16億 1,833万円	4.8% (51.7%↓)
普通建設単独 市独自の財源で実施する建設事業に要する経費	33億 8,308万円	10.0% (20.8%↓)
災害復旧費	5万円	0.0% (0.0%→)
	50億 146万円	14.8% (34.3%↓)
その他		
繰出金 一般会計から特別会計へ基準に基づき支出するもの	40億 9,364万円	12.1% (2.7%↓)
公債費	45億 6,384万円	13.5% (7.0%↓)
その他	5億 6,969万円	1.7% (19.8%↑)
	92億 2,717万円	27.3% (3.8%↓)

*経費を福祉や教育などの行政サービスの目的ごとに分類

歳出（目的別）



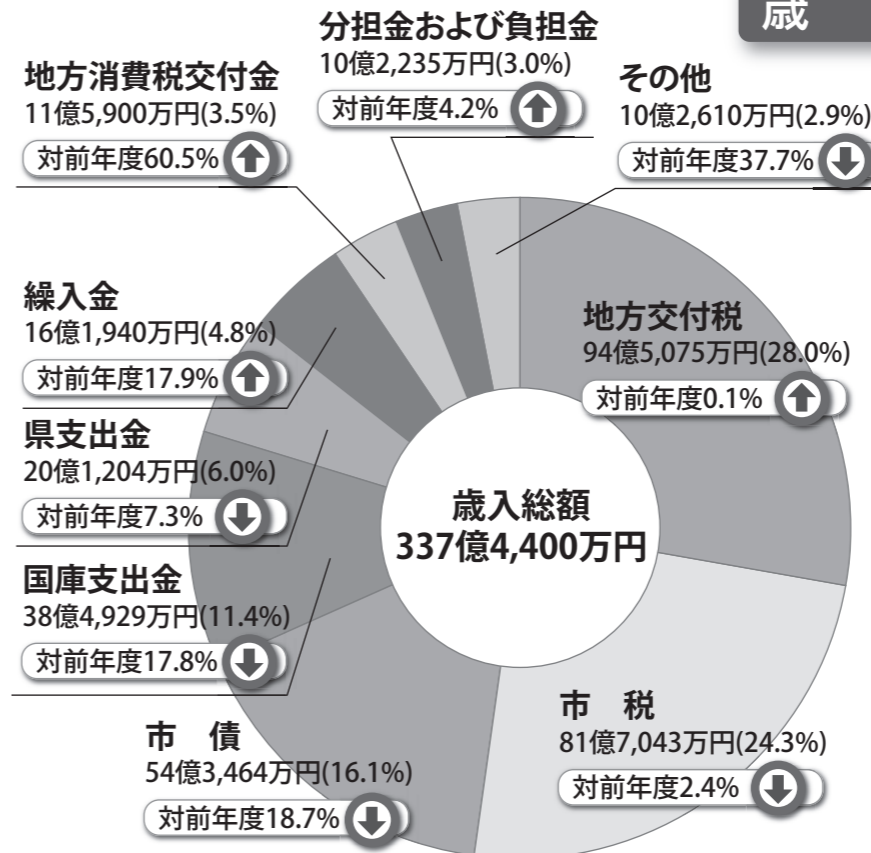
※その他の内訳

商工費 3億516万円	諸支出金 6,245万円	労働費 1,302万円
対前年度4.7% ↓	対前年度407.3% ↑	対前年度27.8% ↓
議会費 2億4,457万円	予備費 3,000万円	災害復旧費 5万円
対前年度8.3% ↑	対前年度0.0% →	対前年度0.0% →

○用語の説明

民生費	障がい者、高齢者、生活保護や少子化対策などの経費
公債費	市債返済のための経費
衛生費	健康増進、疾病予防、環境保全、水道などのための経費
総務費	庁舎管理、人件費、戸籍事務、選挙などの経費
災害復旧費	災害で被害を受けた施設などを原形に復旧するための事業に要する経費

歳入



○用語の説明

地方交付税	国が所得税、法人税などの国税の一定割合を市の財政力に応じて交付するもの
市税	市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税など
市債	道路や施設などを整備するための市の借金
国庫支出金	国や県から交付される補助金など
繰入金	一般会計、特別会計および基金の間で、相互に資金運用するもの
地方消費税交付金	県が集めた税金の一部を市に交付するもの
分担金および負担金	事業加入者分担金や施設入所者の負担金など

会計区分	27年度予算額	対前年度
特別会計	202億9,545万円	8.0% ↑
国民健康保険特別会計	102億2,252万円	15.6% ↑
介護保険特別会計	57億7,804万円	2.7% ↑
介護サービス特別会計	1,695万円	0.5% ↑
後期高齢者医療特別会計	13億3,104万円	0.4% ↑
公共下水道特別会計	28億3,905万円	1.5% ↓
農業集落排水特別会計	4,717万円	0.0% →
簡易水道特別会計	1,498万円	7.6% ↑
財産区	4,570万円	0.2% ↓
企業会計	32億299万円	11.7% ↓
水道事業	31億2,061万円	12.3% ↓
春日居地区温泉給湯事業	8,238万円	15.0% ↑

特別会計や企業会計は、特定の事業を行う場合に一般会計と区分して経理を行う会計です。

特別会計・企業会計予算

水と親しみ、花と緑あふれるまちへ

笹 吹市の名前の由来となつてゐる笹吹川を中心とした「ミズべ」に親しみ、花いっぱい緑あふれる美しいまちづくりを進めます。

水辺活性化事業 **新規**
(経営企画課、観光商工課)
……1158万円
【総合計画：施策4 人々の交流を盛んにするしくみづくり】

・ 笹吹市
・ ミズベリング構想
・ 計画期間平成27年度～29年度
・ 石和温泉駅周辺および近津用水にイルミネーション

・ 駅周辺の未利用地に誘客施設、直売所、公園、足湯などを整備、隣接の橋・道路拡張
・ 鶴飼橋の上流に国による親水護岸(階段式)の整備推進
・ 鶴の飼育・見学施設を整備
・ 笹吹川ミズベリングツアーを実施、そのほか川や水を理解し親しむ取り組み など
今年度は調査・検討を行います。



花と緑のまちづくり推進事業 **拡充**
(市民活動支援課)
……1756万円
【総合計画：施策12 憩いと癒しの空間づくり】

拡張整備などの事業を実施します。

観光宣伝事業
(海外誘客活動)
(観光商工課)

【総合計画：施策5 もてなしの心があふれる観光地づくり】
……2098万円

市の資源を広く宣伝し、市の経済発展に寄与することを目的として、各種イベントのポスター、パンフレットの製作・配布、各種広報媒体を利用しての宣伝活動、電車・高速バス内への広告掲載および車内放送を実施しています。インバウンド誘致



リニアの見える丘構想に基づき、八代ふるさと公園、花鳥の丘展望台周辺を、リニア展望ビュースポットとして整備し、市内外からの観光客を誘致し、市のさらなる発展につなげていくため、展望台、公園整備、駐車場整備、トイレ設置、道路

花や緑でより良い生活環境をつくり、地域のコミュニティを発展させ、生き生きとしたまちづくりを進めます。市内各所の憩いの場、公園、公共施設や道路河川沿いに花を植えてまちの環境を美しくするため、花の栽培・管理育成を行おうとする地区、住民自治組織および団体などに対して花苗・種子などの配布を行うほか、花の名所づくりとして、石和温泉駅前通りおよび市部通りにプラントー400基を設置します。



促進事業(海外誘客活動)で外国人観光客の滞在宣伝活動を行います。

農産物等消費拡大宣伝事業 (全国桃サミット) **拡充**
(農林振興課)

【総合計画：施策6 桃・ぶどう日本一を誇れる魅力的で安定的な農林業づくり】
……1289万円



桃・ぶどうを主とする果樹および市内産農畜産水産物その加工品などについて、国内外で消費宣伝事業を行い、笹吹市の知名度向上と市産農産物

地域経済が元気で人が集まるまちへ

笹 吹市内への来訪者の増加を促すとともに、定住化を図り、まちの活性化をより効果的に進めるため、各種施策を展開します。

石和温泉駅周辺整備事業 (まちづくり整備課)
(経営企画課)
……5000万円
【総合計画：施策3 機能的で魅力ある市街地づくり】

本市の玄関口として交通結節点機能の強化や美しいまちなみを形成し、周辺住民や利用者が使いやすいよう、石和温泉駅南北自由通路や駅舎建て替えとともに北口駅前広



場などの周辺整備を行います。今年度は、電気代の節約や蓄電池による緊急時の電気の活用ができるように防災型太陽光発電システム整備を行います。

地域おこし協力隊事業 **新規**
(経営企画課)
……717万円
【総合計画：施策4 人々の交流を盛んにするしくみづくり】

地域外からの人材の誘致により、少し異なる視点からの地域活力の向上、地域の魅力の発信、地域の活性化に向けた活動に取り組みます。

災害に強く安全・安心に暮らせるまちへ

災害 が発生した際、いち早く市民の安全安心を確保するための体制づくりを進めます。

消防団波無線更新事業 **新規**
(総務課)
……2450万円
【総合計画：施策8 災害に強い安全な備えづくり】

平成28年度からアナログ式の無線設備が利用できなくなることに伴い、現在使用している消防団波無線のデジタル化への移行を図ります。消防団の装備を充実強化することにより、災害に強いまちづくりを進めます。



防災無線メール配信事業

(総務課)

……1700万円

【総合計画・施策8 災害に強い安全な備えづくり】

希望者に防災行政無線で放送した内容のメール配信サービスを行います。受信者は放送の聞き逃した場合や市内にいない場合でも放送内容が確認できるため、緊急時や災害時における情報伝達手段として期待できます。



避難路沿道建築物耐震診断等支援事業

新規

(まちづくり整備課)

……2600万円

【総合計画・施策8 災害に強い安全な備えづくり】

耐震改修促進法が改正され、市が指定する緊急輸送道路の避難路沿道建築物などの耐震診断が義務化され、結果が公表されることになりました。今年度末までに市内にある避難路沿道建築物の診断補助を行い防災の向上促進を図ります。

建築物耐震診断・耐震改修等支援事業

拡充

(まちづくり整備課)

……1380万円

【総合計画・施策8 災害に強い安全な備えづくり】

地震発生時における被害を最小限に抑えることを目的に、昭和51年5月31日以前に着工された木造個人住宅の耐震診断を促進するため、耐震診断・耐震支援事業を行います。また、不特定多数の方が利用する大規模な建物についても耐震診断事業を行うていきます。



交通安全施設整備事業

拡充

(市民活動支援課)

……1487万円

【総合計画・施策9 命を守り安心して暮らせるしくみづくり】

車両や歩行者の安全な通行を確保するため、交通安全施設(カーブミラーなど)の設置・管理を行います。平成25年度に実施した通学路総合点検の結果に基づき、グリーンベルトや区画線などを設置して通学路の整備を行います。

公共施設の将来を見据えたまちへ

施設の耐震化を含め、公共施設などの老朽化に対応した将来を見据えた計画的な行財政経営を行います。

施設整備管理事務(出張所適正配置)

拡充

(消防本部管理課)

……5304万円

【総合計画・施策9 命を守り安心して暮らせるしくみづくり】

消防本部は1署3出張所を活動拠点として、防火・防災のための車両・資機材を整備し、有事に備えています。拠点となる施設の整備、保守点検維持管理を行います。今年



度は老朽化した出張所改築に伴う適正配置調査、タンク室浸水による自家給油所の移設工事を行います。

市営住宅四日市場団地建替事業

新規

(管理総務課)

……8625万円

【総合計画・施策10 快適で暮らしやすい生活環境づくり】

市営住宅のうち木造建築物は、築40年を経過するなど老朽化がかなり進んでいます。セーフティネット機能を保持する必要があるため、建て替えを進めます。今年度は、石和四日市場住宅建て替えの調査・設計・用地購入を進めます。

公共下水道整備事業

(下水道課)

……3億9461万円

【総合計画・施策10 快適で暮らしやすい生活環境づくり】



下水道計画は昭和52年に基本計画が策定され、「峡東流域下水道計画」の関連公共下水道として計画が進められており、現在の市全体計画は3299・2ヘクタール、事業認可面積は2512・8ヘクタールです。平成25年度末累計で1986・5ヘクタールの整備を完

了し普及率は60・6%です。今年度、下水道アクションプランを策定し、今後10年間で工事ができる区域を計画して集中的に事業を実施していきます。

小学校・中学校施設計画的改修事業

拡充

(教育総務課)

……1億9648万円

【総合計画・施策18 子どもたちの個性を尊重する学校づくり】

小中学校施設・設備を計画的に改修します。今年度は、つり天井を有する石和南・富士見・境川



小学校、春日居中学校の屋内運動場のつり天井などの落下防止対策を実施します。また、雨漏りがある八代小学校屋内運動場の屋根を改修し、浅川中学校音楽室へのエアコン設置、石和中学校プールを改修します。

社会教育施設計画的改修事業

拡充

(教育総務課)

……2億3220万円

【総合計画・施策20 いつでも、どこでも、だれでも学べる環境づくり】

スコレーセンターは、建築後25年以上が経過し、



老朽化が目立っています。特に痛みが激しい外壁、屋根防水、内装の一部を改修します。そのほか、桃の里スポーツ公園の防球ネットの増設も行います。

公共施設総合管理計画策定事業

新規

(財政課)

……600万円

【総合計画・施策25 健全で安定した行財政基盤づくり】

公共施設が老朽化し更新時期を迎える前に、公共施設の現況を調査・把握し、人口動態や今後の財政状況などを踏まえ、総合的かつ長期的な視点から、有効活用や適正配置、適切な維持管理など、公共施設のあり方およびマネジメントに関する基本方針・基本計画の作成などを行います。



安心して子育てができ、みんなが健やかに暮らせるまちへ

未来を担う子どもたちが健やかに生まれ育つ環境を実現します。

ファミリーサポートセンター事業

拡充

(児童課) ……796万円

【総合計画・施策14 安心して生み育てられる環境づくり】

育児の手助けをしてほしい方と育児のお手伝いをしていただける方が会員登録し、互いに助け合いながら育児の援助活動を行う事業です。現在熱意のあるNPO法人に委託して実施しています。利用対象者は、生後2カ月から小学校6年生までです。

地域子育て支援
センター事業 **拡充**

(児童課)

……5250万円
【総合計画・施策14 安心して生み育てられる環境づくり】



乳幼児およびその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言そのほかの援助を行う事業です。市内7カ所に設置します。今年度からホームスタート事業も実施します。

施設型等給付事業 **拡充**

(保育課)

……10億4298万円

【総合計画・施策14 安心して生み育てられる環境づくり】

子ども・子育て支援新制度の施行に伴い、これまでバラバラだった保育所、認定こども園、幼稚園などに対する財政支援を共通の給付として一本化(例外あり)し、施設型等給付費として支給します。また、新制度では保育などの機能向上を図ります。

保育所臨時職員費 **拡充**

(保育課)

……1億5946万円
【総合計画・施策14 安心して生み育てられる環境づくり】



保護者の出産後早期での就業意向などに伴い、特に増加傾向にある3歳未満児の保育ニーズに対応するために、受け入れに必要な保育士の確保に努め、保育を必要とする児童を受け入れられる態勢を整えます。

放課後児童健全育成事業 **拡充**

(児童課)

……9973万円
【総合計画・施策19 子ども・健やかな成長を支える環境づくり】

学童保育室で、放課後帰宅しても留守家庭である小学校就学児童を預かり、放課後児童支援員のもとで、適切な遊びや生活の場を与え、児童の健全育成を図ります。今年度からすべての小学生が対象となりました。

児童福祉施設管理運営事業 **拡充**

(児童課)

……8933万円
【総合計画・施策19 子ども・健やかな成長を支える環境づくり】



地域において児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、または情操を豊かにすることを目的に市内6カ所に児童館・児童センターがあります。開館時間内であれば自由に利用することができ、施設です。

次世代リーダー育成事業

(学校教育課)

……130万円
【総合計画・施策18 子どもたちの個性を尊重する学校づくり】

市の将来を担うリーダーの育成を図るために、生徒会活動で活躍している中学2年生に対し、地

域で活躍している方を講師に招き、合宿形式で研修を行います。



福祉タクシー利用助成事業 **拡充**

(福祉総務課)

……960万円
【総合計画・施策16 障がい者の自立を支援する環境づくり】

重度心身障害者(児)などの移動支援や社会参加促進を図ることを目的にタクシー券を発行して利用料金の助成を行っています。4月から助成単価を増額(1枚当たり590円↓640円)し、行動範囲の拡大と一層の社会参加促進を図ります。